

210617 4年2組の道徳授業

今日は、5時間目に4年2組の道徳授業を見ました。

道徳資料を使って「思いやり」を学びました。

この資料は、主人公は、親切心から骨折している友達のお手伝いをしていたのですが、ある日、いつものように手伝おうとしたら友達が悲しい顔をしたことになぜだろうと疑問をもったという内容です。



子どもたちは話し合う中で、困っている人がいたら、とにかく手伝ってあげることが思いやり・優しさだと考えていた主人公だったが、相手の気持ちや希望を考えずに手を出していたことがよくなかったのでは・・・と気付くことができました。

そして、相手の置かれている状況、悲しい気持ちでいることなどを自分のこととして想像した上で、親切な行為を自ら進んで行うことが大切であると学びました。

子どもたちの学びを見ながら「思いやり」の意味を改めて考えるよい機会になりました。